

発行者：秦野市議会議員

やひろ伸二

議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
Tel. 0463-88-2777 (後援会事務所)
E-mail: shinji.yahiro@jcom.home.ne.jp

平成29年 秦野市議会 第1回定例会報告!

秦野市議会第1回定例会(3月議会)が2月23日から3月23日の会期で開催され、市長提出議案25件、報告4件、陳情3件などを審議・議決し閉会しました。

主な内容は以下の通りです。



1. 平成29年度予算が決まる

平成29年度予算は、秦野駅北口や鶴巻温泉駅南口周辺整備事業、秦野駅南部の区画整理事業、カルチャーパークの防犯カメラや放送設備設置、おおね公園の人工芝化などの大型事業を実施する結果、一般会計予算の総額は516億4,000万円で、平成28年度と比較し18億7,000万円(3.8%)の増となる5年連続の最高額の予算案が提出され賛成多数で可決しました。

市税全体の歳入は、平成28年度と比較し2億円減となることが予想されるなど、依然として厳しい財政状況であることは変わっていません。また、プライマリーバランスも赤字となることも同時に予想されています。

この予算に対し市長は、今回の予算を「明日を担う子どもたちに、ふるさと秦野を引き継いでいく予算」としています。私は財政的に厳しい状況を踏まえ、今後の行政運営に対し一般質問などで苦言を呈す中で賛成しました。

<一般会計予算で金額が大きい主な事業>

Table with 2 columns: 事業名 (Project Name) and 予算額 (Budget Amount). Lists various municipal services and their costs, such as '生活保護費' (33 billion 6,208 million yen) and '介護給付・訓練等給付費事業費' (26 billion 3,637 million yen).

<主な新規事業>

Table with 2 columns: 事業名 (Project Name) and 予算額 (Budget Amount). Lists new initiatives like '公園施設管理費(防犯カメラや放送設備など)' (2 billion 6,086 million yen) and 'スポーツ施設改修事業費(おおね公園人工芝化)' (2 billion 4,325 million yen).

2. 平成28年度補正予算を可決

平成28年度一般会計予算総額に7億377万円を追加し、516億9,703万円とする提案がなされ、賛成多数で可決しました。私も補正は妥当と考え賛成しましたが、この補正には定年退職者に加え、早期退職者が多く出たことに対する追加補正も含まれています。今後の市政運営のため、原因を分析する必要がありますとした上で賛成しました。

<主な事業>

Table with 2 columns: 事業名 (Project Name) and 予算額 (Budget Amount). Lists specific supplementary budget items like '職員給与費' (1 billion 2,598 million yen) and '国県支出金等返納金' (1 billion 4,610 million yen).

3. 若年低所得者層向け市営住宅の募集

市営住宅の薬師原団地(下大槻224番地の1ほか)において、高層部に入居する高齢者の階段昇降が困難となっていること、また、高齢化に伴いコミュニティの継続が困難となっていることから、月額収入が15万8千円以下などとする市営住宅の入居条件に加え、下記条件を満たす方へ4、5階への入居を募集する提案がなされ、賛成多数で可決しました。



コミュニティの継続が困難となっていることから、月額収入が15万8千円以下などとする市営住宅の入居条件に加え、下記条件を満たす方へ4、5階への入居を募集する提案がなされ、賛成多数で可決しました。

<入居の条件概要>

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 条件概要 (Condition Summary). Details the rental period (10 years), target households (children of elementary school graduates, couples over 35), and renewal conditions (once per period).

平成29年 第1回定例会 一般質問内容 やひろ伸二



今定例会において、市税収入が減少傾向となる中で、「行政運営に関する取組み」について、3項目(行政評価、行財政改革、ネーミングライツ)の質問を行いました。主な内容は下記となります。

行政運営に関する取組みについて

1. 行政評価(人事・教育など)

【質問】

- (1) 市税収入が減少する環境下、昨年の11月に行財政調査会が、市職員の「人事評価」「給与体系」「教育や評価制度」の見直しについて、初となる外部評価を行った。その評価の中で「戦略的な人材育成」が必要との結果が出された。今後の対応は？
- (2) 評価内容に「現状ではフィードバック面談が徹底されていないことに対して、完全に徹底させるための具体的な手法が必要である。」との記述があった。この記述の意味は？

【回答】

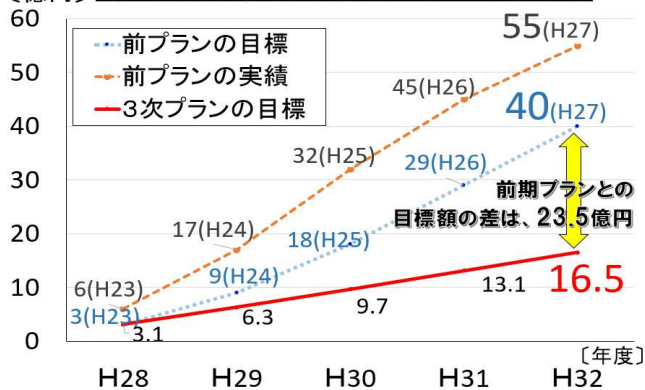
- (1) 職員を取巻く様々な環境の変化や職員の思い・職場の状況などを把握しつつ、評価結果を踏まえながら、引続き「職員づくり基本方針」及び「同実施計画」に基づく様々な方策を推進し、この方針の基本理念の実現に努めていく。
- (2) 今年度から各課でのフィードバック面談の実施結果報告を求め、状況を把握するよう徹底した。今後も人事評価における面談の重要性を踏まえ制度の見直し及び推進に努めていく。

◆◆意見要望◆◆

現在、目標管理制度の導入も検討している中で、市長ならびに部・課・個人の目標設定は、非常に重要となる。またフィードバック面談は、個人・組織の課題などが明確になる重要なツールでもある。管理職の方々には覚悟をもって導入するよう要望する。

2. 行財政改革の成果と今後

〔億円〕【一般会計】行革推進プランの効果額



出典：新はだの行革推進プラン/第3次はだの行革推進プランより

【質問】

- (1) 平成22～27年度の「新はだの行革推進プラン」の成果は、一般会計で累計40億円削減する目標に対し、55億円の実績を上げたことについて高く評価する。また、平成28～32年度では「第3次はだの行革推進プラン実行計画・実行方

針」が策定され、行政調査委員会の評価内容に「主管課だけで、改革に取り組むのではなく…庁内での横断的な取組み強化が求められる。」との記述があったが、どのような取組みをイメージしているのか？

- (2) 評価内容に「痛みの分かち合い」との記述があるが、市民と行政の分かち合いだとした場合、行政はどのような痛みを分かち合うのか？

【回答】

- (1) 特に優先すべき項目については、庁内の横断的な連携により、その方向性を決定し、改革の実現に向けて取り組むことをイメージしている。
- (2) 公共サービスの配分を根本から見つめ直し、公共の領域の多様化、市民や企業、NPOなどの連携で支えるなど、行政に依存しない地域づくりをめざす必要も生じると考えている。

◆◆意見要望◆◆

刻々と変化する市民ニーズに対応した行政サービスとなるよう努力を続けて欲しい。

3. ネーミングライツ導入に向けた進捗状況

【質問】

- (1) 平成27年第2回定例会の一般質問で私は、野球場や総合体育館などにネーミングライツを導入すべきだと質問した。導入の取組み状況は？
- (2) 今後、いつ、どのように検討・導入されるのか？

＜伊勢原市のネーミングライツ契約状況＞

契約施設	契約金額(年額)
伊勢原球場	130万円
鈴川公園	100万円
合計	230万円

【回答】

- (1) 市民や利用者が混乱しないよう、まずは「秦野市カルチャーパーク」という名称を市民に広く浸透させることを考えている。但し、ネーミングライツは、施設の維持管理や運営経費を確保する有効な手段であるため、導入に向けた具体的な検討を進めていきたい。
- (2) ネーミングライツを導入する場合、直ちに募集できる訳ではない。対象施設の選定や導入方針などの整備に向けた検討を行い、命名権販売という公共イメージの損失や名称の定着などの課題についても、併せて精査していきたい。

◆◆意見要望◆◆

歳入が右肩上がりの時代は、市民が喜ぶ事業に多額の歳出をすれば良かった。これからは、行政も経営感覚を持ってネーミングライツなどの税外収入を効率良く得る必要もある。その他にも、例えばパークゴルフ場をつくり運営するなどの定期的収入を得る事業も検討しながら行政運営を進めて欲しい。